

## 令和5年度 第3回 富田林市交通会議 議事録

日時：令和5年9月28日（木）午後2時～午後4時

会場：富田林市役所 2階 全員協議会室

### ●出席委員 22名

北川委員、内田委員、鬼追委員、伊東委員、高平委員、石田委員、松永委員、猪阪委員、湯口委員、宮本委員、野谷委員、岡端委員、松崎委員、小川委員、大久保委員、中塚委員、松田委員、金銅委員、北村委員、東委員、小野委員、北浦委員

### ●欠席委員 7名

中村委員、南野委員、西田委員、松田委員、北野委員、豊福委員、辻本委員

### ●公開・非公開の別 公開

### ●傍聴人数 10名

### ●会議次第及び議事要旨

案件

#### (1) 交通会議役員を選出について、及び、富田林市交通会議について

会長は委員の互選により松田委員が選任され、副会長は会長の指名により北川委員が選任され、議長は会長の指名により会長が選任された。また、富田林市交通会議について、事務局より資料2・3に基づき説明し、質疑及び意見等は議事概要のとおり。

#### (2) 金剛自動車株式会社のバス事業廃止について

#### (3) 富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村地域公共交通活性化協議会の設置について

事務局より資料4・5・6に基づき説明し、質疑及び意見等は議事概要のとおり。

#### (4) 交通不便地域における地域公共交通について

事務局より資料7に基づき説明し、質疑及び意見等は議事概要のとおり。

#### (5) その他

事務局より富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村地域公共交通活性化協議会の初回開催日程（令和5年10月5日）及び、次回の交通会議の開催についての案内を行った。

### ●資料

資料1 委員名簿

資料2 富田林市交通会議の概要について

資料3 富田林市交通会議の経緯と今後の運営について

資料4 金剛自動車株式会社のバス事業廃止について

資料5 富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村地域公共交通活性化協議会の設置

について

資料6 富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村地域公共交通活性化協議会規約(案)

資料7 交通不便地域における地域公共交通について

参考資料1 富田林市交通基本計画(概要)

参考資料2 富田林市地域公共交通計画(概要版)

参考資料3 レインボーバス時刻表・運行ルート

参考資料4 富田林市交通会議設置要綱(令和元年富田林市要綱第16号)

参考資料5 南旭ヶ丘町地域第1回勉強会概要資料

## ●議事概要

案件

(2) 金剛自動車株式会社のバス事業廃止について

(3) 富田林市、太子町、河南町及び千早赤阪村地域公共交通活性化協議会の設置について

松田会長  
(議長) 金剛自動車株式会社が運行しているバス路線は4市町村に跨っており、広域で運行されている路線である。そのため、金剛バスの代替交通については、広域で協議を行っていく必要があり、本市交通会議とは別に、新たに広域的な協議会を設置したいと考えている。河南町、太子町、及び千早赤阪村の各町村で設置されている協議会において、広域的な協議会の設置について議題をあげており、本市交通会議でも同様に議題にあげている。

北川委員 4市町村に跨っている路線のため、広域協議会で議論を行うことは理にかなっていると考える。資料4の8ページの「3.これまでの経緯について」において、協力にあたっての前提条件として、運行にかかる経費及び初期的経費は自治体負担とするとなっているが、どの市町村がどれくらい負担する必要があるのか分からないし、自治体コミュニティバス方式の位置付け等、イメージがわからない。どのような議論をして、どこまで連携が進んでいるのか、また、本市交通会議との関係性はどうなっているのか、教えてほしい。

事務局 本市交通会議と、新たに設置予定の広域協議会とは密接に連携しあう関係としていきたいと考える。また、広域協議会で、金剛バスの代替交通の協議を行った際には、各市町村の法定協議会で報告をさせて頂き、その会議で頂いたご意見・ご要望については広域協議会にも共有させて頂くことにより、双方の会議が対等な関係になるようにしていきたいと考えている。

北川委員 情報を共有する事が大事なので、よろしく願います。

- 松田会長  
(議長) 地域住民から、金剛バスの廃止の件で頂いているお声などはあるか。
- 石田委員 第三中学校区や東条小学校校区は金剛バスで通学している。廃止は死活問題である。金剛バスが廃止となった場合、ほかに交通手段はあるのか？
- 松田会長  
(議長) 市民の方からは切実なお声を頂いている。地域住民にとって、金剛バスは歴史があり、あって当たり前だと思っていた公共交通であった。代替交通も含め、広域協議会で議論していく。
- 石田委員 彼方上地区のような、乗合タクシーを通学の時間帯だけ導入してもいいかと考える。色々な交通手段を検討してほしい。
- 湯口委員 子供会の行事の度に、市内全域から子供達が集まっているが、子供の家族が送迎することが多い。東条小学校校区は毎日子供が通学のため、金剛バスを利用しているが、歩くには遠いし、坂道のため、通学の時間帯だけでもコミュニティバスを運行してほしいと聞いている。
- 松永委員 9月15日に近鉄バス株式会社と南海バス株式会社から運行等協力依頼に対して回答があったとのことだが、その後進展はあったのか。
- 事務局 9月15日の回答以降に頂いた回答はないが、回答を頂いた2社に運行を依頼する代替交通については広域協議会で検討を進め、それと合わせて別の方法についても検討を進めていく。進捗状況については、広域協議会の進捗状況に合わせて、本市交通会議に報告させて頂く。
- 松田会長  
(議長) 金剛バス廃止に関して、近鉄バス株式会社と南海バス株式会社に協力を依頼した。両者とも慢性的な運転手不足であると聞いていたため、依頼を断られる可能性もあったが、可能な限り協力して頂けるとの回答であったため、一安心している。運行内容など、今後のことについては、これから相談しようと考えている。
- 猪阪委員 ちょうど、本日が滝谷不動の縁日（毎月28日）であり、露店商が出ているが、露店商の方には金剛バス廃止について知らない方もいるようだった。瀧谷不動尊へは、最寄り駅である近鉄滝谷不動駅から徒歩で向かう方もいるが、道中の車の往来が多く危ないので、近鉄富田林駅前から金剛バスで来られる方も多くいる。金剛バスの代替交通を希望する声も聞いているが、廃止の日まで時間がないのが問題だと思う。
- 松田会長  
(議長) 12月20日の廃止の日が迫って来ているので、代替交通の確保に向け、精力的に検討を進めなければならない。代替交通についてのスケジュール

や許認可の関係についてはどうか。

内田委員 協議会での協議が整えば、運輸局へ申請を提出して頂いてから1ヶ月で運行は可能である。

松田会長  
(議長) 11月20日までに、代替交通をどのような形でどのように運行するのか決定し、申請するため、精力的に検討を進めなければならない。

石田委員 早く決めなければ、住民が安心出来ないと思う。

松田会長  
(議長) 非常に検討できる時間がない中、近鉄バス株式会社と南海バス株式会社にご協力頂きながら、代替交通の確保に向けて検討を進めていきたい。ただ、金剛バスと全く同じ運行内容で代替交通を確保することは、スケジュールのこともあり厳しいと考えているが、12月21日以降、代替交通が全くない状態のままとなることがないように取り組んでいきたい。

北川委員 前代未聞の状況であるので、運輸局にも話を聞いたが、今回、4市町村で広域協議会を作ることになるが、4市町村を跨る交通問題については広域協議会、各市町村内の交通問題については各市町村の法定協議会で議論していくことになるが、事例はあるのか。

内田委員 広域協議会は大府下では初めてだが、全国的には初めての事例ではない。また、広域協議会と各自治体の協議会とで、双方で議論をしていくことになる。

松田会長  
(議長) 資料6の規約(案)別表の、広域協議会の構成委員のうち、住民又は利用者の方について、各市町村よりそれぞれ2名ずつ選出となっているが、詳細を教えてください。

事務局 3町村からは、それぞれの法定協議会の会長より2名ずつ指名をいただいている。

松田会長  
(議長) 本市交通会議からも、広域協議会の住民又は利用者の委員2名を指名させていただきたい。幅広い委員の方に参加して頂くためにも、他の3町村の委員が所属する団体と出来るだけ重複しない団体に所属されている方に、広域協議会の委員に就任して頂くのがよいと考えている。他の3町村には子どもに関係する団体と身体障がい者に関係する団体に所属している委員の方がいないので、湯口委員と西田委員に、広域協議会の委員をお願いしたいと考えている。

#### (4) 交通不便地域における地域公共交通について

北川委員 開催された彼方上地区と南旭ヶ丘地域の勉強会は、両地区ともワークショップという形式だった。印象的だったのは、地区ごとに違いがあり、普段どの鉄道駅を利用しているかなど、地域住民の意見を聞かないと分からなかった。彼方上地区では、彼方上地区の北側は近鉄汐ノ宮駅を、南側は近鉄・南海河内長野駅を利用しているという意見が多かったの  
で、次回の実証運行ではその駅を結ぶ形での運行を検討することとなった。南旭ヶ丘地域でもワークショップを開催したが、参考資料5でもあるような意見があった。代表的な意見では、坂が多く、最寄り駅まで約30分歩かないといけないなど、日常生活の不便さを訴える方が多く、普段は車で移動されている方が多かった。今回は地域に住む子供も参加しており、普段、重いランドセルを背負って通学している状況が聞けたので、今後は、子供を含め幅広い人に参加してもらい、地域住民の様々な声を聞くとともに、地域住民もこういう意見があるということを知ってもらうのがいいと考えている。

#### (5) その他

事務局 次回の交通会議については、広域協議会の開催状況を鑑み、日程を決定する予定である。また、広域協議会の内容も報告させていただく。

以上